

平成27年度大阪大学産業科学研究所附属量子ビーム科学研究施設成果報告会

日時:平成28年3月2日(水) 10:00-18:00

場所:大阪大学産業科学研究所 管理棟 講堂

時刻	座長	講演題目	講演者	所属
10:00-10:05		開会の挨拶	真嶋哲朗	産研
10:05-10:25		核融合炉用超電導磁石絶縁材料の照射効果に関する研究	秋山庸子	工学研究科
10:25-10:45	山内知也	レーバンドライナックによるパルス中性子源を用いた大型検体の中性子シャドウグラフ撮影技術の開発	有川安信	レーザー研
10:45-11:05	誉田義英	高分子系飛跡検出器内の放射線損傷形成機構	山内知也	神戸大学
11:05-11:45	渡辺 誠	特別講演:次世代放射光源のための高輝度電子源開発	西森信行	日本原子力研究開発機構
11:45-12:00		利用者連絡会		
12:00-13:00		昼食		
13:00-14:00		ポスターセッション		
14:00-14:40	真嶋哲朗	特別講演 非局所量子もつれを固体中に実現する量子素子	大岩 顕	産研
14:40-15:00	磯山悟朗	ZnOナノ微粒子の特異なTHz 誘起発光	永井正也	基礎工学研究科
15:00-15:15		産研THz-FELの現状と最近の進展	川瀬啓吾	産研
15:15-15:35	大熊春夫	大阪大学 産業科学研究所 THz-FELを用いたテラヘルツカメラの特性評価	石 勉	NEC
15:35-15:50	若狭雅信	相対論的フェムト秒電子線パルスを用いた超高速電子顕微鏡の開発	楊 金峰	産研
15:50-16:00		休憩		
16:00-16:15	若狭雅信	フェムト秒パルスラジオリシスを用いたビフェニルへの超高速電子付着の研究	近藤孝文	産研
16:15-16:35	越水正典	レジストモデル化合物のパルスラジオリシス	岡本一将	北海道大学
16:35-16:50	水野一彦	遺伝子損傷の分子機構— テロメア配列持つQuadruplexにおけるグアニンカチオンラジカルの脱プロトン過程	小林一雄	産研
16:50-17:05	伊藤 攻	時間分解共鳴ラマン測定によるスチルベンの一電子酸化還元に伴う構造変化の検討	藤塚 守	産研
17:05-17:20	吉田陽一	パルスラジオリシス-赤外過渡吸収測定装置の開発	藤乗幸子	産研
17:20-17:35		陽電子による粘土鉱物内空隙の観測	誉田義英	産研
17:35-17:40		閉会の挨拶	吉田陽一	産研
18:00 -		懇親会 (於 施設セミナー室)		

ポスター

- | | | | |
|----|--|--|---------|
| 1 | テラヘルツレーザー脱離イオン化法 | 永井正也、芦田昌明、川瀬啓悟、入澤明典、磯山悟朗、冬木正紀、青木順、豊田岐聡 | 基礎工学研究科 |
| 2 | コレステリック液晶を用いたTHz-FELの可視化イメージング | 田所 譲, Boyoung Kang, 西川智啓, 高野恵介, 萩行正憲, 中嶋 誠, 川瀬啓悟, 入澤明典, 磯山悟朗 | レーザー研 |
| 3 | γ 線照射したバサルトファイバーのESR測定 | ○谷 篤史, 坂之上 聖史, 深澤 裕 | 理学研究科 |
| 4 | 放射線照射による生体物質の損傷量評価手法に関する基礎的研究
—マイクロ波誘電吸収法を用いたDNAの損傷評価— | 平山誠、○松尾陽一郎、安田仲宏、泉佳伸、菅田義英 | 福井大 |
| 5 | 転写因子SoxRのスーパーオキシドアニオンに対する反応性の制御 | 藤川麻由、○小林一雄、古澤孝弘 | 産研 |
| 6 | 遺伝子損傷の分子機構—
テロメア配列を持つQuadruplexにおけるグアニンカチオンラジカルの脱プロトン過程 | ○小林一雄、古澤孝弘 | 産研 |
| 7 | 水溶液の放射線誘起スパー反応研究 | 室屋裕佐、古澤孝弘 | 産研 |
| 8 | テトラヒドロフラン溶媒中での金属ナノ粒子の放射線誘起還元 | 山本洋揮、古澤孝弘 | 産研 |
| 9 | 超高速スクリーニング法を駆使したエネルギー変換材料の探索 | 佐伯昭紀 | 工学研究科 |
| 10 | 増幅回数変調による大強度テラヘルツFELパワー発展の測定 | 藤本将輝、磯山悟朗 | 産研 |
| 11 | フォトカソードRF電子銃加速器を用いたテラヘルツ波発生・計測
—周波数・強度に関する研究— | 菅晃一、楊金峰、近藤孝文、神戸正雄、野澤一太、吉田陽一 | 産研 |